



学校五日制に

ついて

名誉会長
学校長

依田 好雄

この九月から第二土曜日を休業日とする学校週五日制が始まりました。当面は月一回の実施ですが、数年後には月二回に拡大されることが予想されています。この週五日制の実施に当たっての最大の課題は、「学力をどう捉えるか」ということです。例えば「週五日制になっても学力水準を落とす」

捉えることが必要です。そしてそのような学力を身につけるためには、自然とのふれあいや社会の人々とのかわりあいの体験を通して学ぶことが大切となります。学校だけでなく、家庭や職場や地域社会が学習の場となるわけです。まさに「どこで学んだか」より「何を学んだか」が問われることとなります。

生徒諸君には、この趣旨の理解を十分に図り、有効に活用できるように努めて参りたいと考えています。(了)

青葉会と共に

名誉副会長
教頭

松村 勇

同窓会誌のタイトルである「ともかき」という言葉からいろいろなことが追想されます。例えば文字通り、友達。三田高校という学び舎で出会った友。青葉会に集う仲間達。

私もこの四月から「ともかき」として仲間入りさせて頂きました。よろしくお願ひ申し上げます。さて本校は六十数年の伝統を誇る学び舎です。これまでこの伝統をしつ

かりと支えてくださった青葉会の皆様に心から敬意を表します。しかしこの学び舎も時代の激変に洗われはじめました。生徒の減少、勤労青年の学習の場という本来の理念が薄れてきたこと等、転換期に入りました。

私も校長の下に全教職員と一緒にこの課題に取り組む所存です。今後とも青葉会の皆様のお力添えをお願い申し上げます。第三です。

皆様には 青葉会 の皆さん

前教頭
若林 明弘

三田高校には3年間在職して、皆様には、いろいろとお世話になりました。ありがとうございます。11月23日

母校の近況

の青葉会総会には、出来る限り顔を出し、皆様とお会いしたいと思っております。青葉会の皆様の更なる御発展を祈願しましてペンを止めます。

平成三年度卒業式

三月二日

卒業生 39名(男29 女10)

平成四年度入学式

四月十一日

新入生 32名(男24 女8)

六月末現在

母校職員の変動

〇二転任

若林明弘先生(教頭)

都立大泉高校(全)教頭

〇一着任

長田 学主事(事務)

都立山吹高校教諭へ

〇二着任

松村 勇先生(教頭)

都立南高校(全)から

武田克博主事(事務)

新任

平成三年度

「北原奨励賞」受賞者

梨本 真也

新入会員氏名

◎お目出とう
「ごさいます」

阿部達哉 荒木益夫

今浜浩志 北原正造

木村光伸 高野晃司

〇梨本真也 橋谷田晃

原田宗織 松井貴史

宮本伸崇 村田 淳

渡辺浩之 角田裕一

伊藤聡子 佐藤明美

長谷川則子 佐藤利美

木戸尚志 桑原英治

佐藤源晃 高橋大五郎

中川和明 中沢賢司

中沢哲夫 中村 純

長岡 智 橋本宗徳

長谷川勝哉 〇檜山高志

益川和美 湯浅健治

横村 彰 上原多恵子

桑原紀子 鈴木奈津子

関口美砂 張替恵美

藤井文恵 〇印は幹事です。

昭和六〇年度生徒会長

荻沢 一郎

渋谷区幡ヶ谷に生まれ、

西原小・代々木中から

本校へ、更に専修大を

中退。在学中は生徒会

長に推され一見もの静

かな面持ちの青年で、

努力家であった。元総

評議長太田薫氏の下で

修業を続け、目下渋谷

区会議員として活躍中

である。彼の大成を祈

る。

今は渋谷区区会議員

青葉会役員 一九九二年度

名誉会長(学校長)

依田 好雄

名誉副会長(教頭)

松村 勇

顧問 石関力太郎

中村 十成

杉山 邦衛

中村 幸子(川崎)

副会長 五百川 武

川上 忠重

吉川 貞雄

染谷 三郎

齊藤 勇

総務 齊藤 新一

会計 鳴戸 錦子

監査 若月 義男

山口 英男

常任幹事

富川孝恭 富川美智子

(鶴岡)石田弘 山岸和代

(百留)竹内努 神崎敬

子 小河内恵美子(田沢)

須藤祐三郎 八木敏行

皆川茂 阿久津真次 中

村信夫 有坂律子(福川)

半田福正 田中美佐子

椎 昭雄

ご出席の先生(順不同)

久保道雄先生

牛島倫子先生

高尾 障先生

奥平象二郎先生

出村 功先生

松尾正恒先生

木下和子先生

今野善胤先生

長谷部正治先生

藤川侃二先生

依田好雄先生(校長)

若林明弘先生(教頭)

石関力太郎先生(顧問)

中村十成先生(顧問)